

2016年4月7日

株式会社グロザスの株式譲渡について

株式会社産業革新機構（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、同社が保有する株式会社グロガス（本社：東京都港区、代表取締役社長：三竹兼司*、以下「グロガス」）の全株式について、ニフティ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：三竹兼司、以下「ニフティ」）へ譲渡しましたのでお知らせ致します。 *グロガスの旧代表取締役社長 今村隆は株式譲渡日（4月4日）に退任。

INCJは、2012年5月、ニフティと共同出資で、日本国内のインターネット活用企業の海外展開を促進するために、海外展開時に必要な業務を集約したビジネスプラットフォームを提供する新会社グロガスを設立しました。今後、グロガスの事業をさらに推し進めるには、ニフティがクラウド事業と一体運営するのが適切であるとの両社の判断から、INCJが保有する全株株式をニフティに譲渡し、同社が事業を継続することになりました。

（参考）INCJは、2012年5月10日に「日本のインターネット活用企業の海外展開を促進する新会社の設立について」を公表しています。

URL：http://www.incj.co.jp/investment/deal_030.html

株式会社グロガスについて

設立	2012年5月
事業内容	日本製デジタルコンテンツの翻訳、ローカライズや海外配信・プロモーション事業
所在地	東京都港区
代表者	三竹 兼司

ニフティ株式会社について

設立	1986年2月
事業内容	ISP事業、Webサービス事業、クラウド事業
所在地	東京都新宿区
代表者	三竹 兼司

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJは、2009年7月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約2兆円の投資能力を有しており、

革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

(本発表資料のお問い合わせ先)

(株) 産業革新機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井

東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 21 階

電話 : 03-5218-7202 (広報)

[別紙]

1. 対象事業会社

株式会社グロザス

- ・設立 : 2012年5月
- ・代表者 : 三竹兼司
- ・所在地 : 東京都港区
- ・事業内容 : 日本製デジタルコンテンツの翻訳、ローカライズや海外配信・プロモーション事業

2. 支援決定概要

- ・支援決定金額 : 12億円(上限)
- ・実投資額: 5億9400万円
- ・共同投資家: ニフティ株式会社
- ・株式保有割合: 60%
- ・支援決定公表日: 2012年5月
<https://www.incj.co.jp/news/assets/1417676293.01.pdf>
- ・投資ストラクチャー図:
<https://www.incj.co.jp/performance/upload/docs/1417676293.02.pdf>

3. 経緯

(1) 出資の経緯

ニフティ株式会社が経済産業省による平成22年度並びに23年度産業技術実用化開発事業費補助金を活用し、国内コンテンツの海外配信に成功したことを受け、2011年3月にINCJに対し事業化検討の打診がありました。

INCJとしてニフティ策定の事業化計画とコミットメントを精査の上、ニフティが設立したグロザスに対する支援を決定しました。

INCJは、2012年5月、12億円を上限とする支援を決定し、5.9億円の出資を実行しました。

(2) 事業の進捗

当初、グロザスは国内ITベンチャー企業等のコンテンツを調達し、ローカライズを行った上で、インドネシア、マレーシアなどの海外のエンドユーザーへの配信・課金事業を行いました。

日本コンテンツファンの多いASEAN市場において、有カコンテンツの確保、ローカライズ開発の推進、現地課金プラットフォームの開拓などを進めたが、課金が伸びず収益化に時間を要しました。

その後、コンテンツの拡充や、配信先を北米市場にも拡大するなど、新たな展開を図りましたが、当初想定していたASEAN市場での苦戦が実績に大きく影響し、グロザス単独の展開は難しくなりました。

(3)Exit の経緯・内容

関係者間の協議の結果、今後、事業として成立させるためには、ニフティのクラウド事業と一体運営を行うことが適切であるとの判断から、INCJ は、2016 年 4 月、保有するグロザスの全株式をニフティに譲渡することとなりました。

4. 主務大臣(経済産業大臣)の意見

ベンチャー企業等への積極的な支援は、今後も我が国の産業競争力の強化において重要である。本案件の課題を分析し、その反省に立って引き続きベンチャー企業等への支援を行うとともに、支援案件全体としての収益性の確保に努められたい。